院内フォーミュラリ（歯科領域の鎮痛剤（経口））

院内フォーミュラリ推奨区分	推奨	推奨	オプション
商品名	カロナール錠200mg、500mg カロナール細粒20%	ロキソプロフェンナトリウム錠60mg「日医工」 ロキソニン細粒10%	セレコキシブ錠100mg、200mg「VTRS」
一般名	アセトアミノフェン	ロキソプロフェンナトリウム	セレコキシブ
規格	200mg、500mg、20%細粒	60mg、10%細粒	100mg、200mg
適応 （一部省略）	各種疾患及び症状における鎮痛 小児科領域における解熱・鎮痛	手術後、外傷後並びに抜歯後の鎮痛・消炎	手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛
用法・用量	【各種疾患及び症状における鎮痛】 通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300～1000mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。 【小児科領域における解熱・鎮痛】 通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10～15mgを経口投与し、投与間隔は4～6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。	通常、成人にロキソプロフェンナトリウム（無水物として）1回60mg、1日3回経口投与する。頓用の場合は、1回60～120mgを経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。	通常、成人にはセレコキシブとして初回のみ400mg、2回目以降は1回200mgとして1日2回経口投与する。なお、投与間隔は6時間以上あけること。 頓用の場合は、初回のみ400mg、必要に応じて以降は200mgを6時間以上あけて経口投与する。ただし、1日2回までとする。
禁忌	重篤な肝障害のある患者 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者 ・消化性潰瘍のある患者 ・重篤な血液の異常のある患者 ・重篤な肝機能障害のある患者 ・重篤な腎機能障害のある患者 ・重篤な心機能不全のある患者 ・妊娠後期の女性	・本剤の成分又はスルホンアミドに対し過敏症の既往歴のある患者 ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎・鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者 ・消化性潰瘍のある患者 ・重篤な肝障害のある患者 ・重篤な腎障害のある患者 ・重篤な心機能不全のある患者 ・冠動脈バイパス再建術の周術期患者 ・妊娠末期の女性
腎機能障害	投与量の減量、投与間隔の延長を考慮すること。症状が悪化又は再発を促すおそれがある。	重篤な腎機能障害のある患者には禁忌	重篤な腎機能障害のある患者には禁忌
妊婦又は妊娠している可能性のある女性※	添：有益性投与 妊：安全	添： ・妊娠後期：投与しないこと ・妊婦（妊娠後期を除く）：有益性投与（投与する際は必要最小限。妊娠中期で胎児の動脈管収縮が起きたとの報告あり） 妊：後期には投与しないことが望ましい	添： ・妊娠末期：投与しないこと ・妊婦（妊娠末期を除く）：有益性投与（投与する際は必要最小限。妊娠中期で胎児の動脈管収縮が起きたとの報告あり） 妊：後期には投与しないことが望ましい
授乳婦※	Hale：L1-豊富なデータ-適合 添：有益性投与 妊：安全	添：有益性投与 妊：安全	Hale：L2-限定的データ-おそらく適合 添：有益性投与 妊：安全
重大な副作用	【いずれも頻度不明】 ショック、アナフィラキシー、中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症、喘息発作の誘発、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、顆粒球減少症、間質性肺炎、間質性腎炎、急性腎障害、薬剤性過敏症症候群	【いずれも頻度不明】 ショック、アナフィラキシー、無顆粒球症、白血球減少、溶血性貧血、再生不良性貧血、血小板減少、中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症、急性腎障害、ネフローゼ症候群、間質性腎炎、うっ血性心不全、心筋梗塞、脳血管障害、間質性肺炎、消化性潰瘍、消化管出血、消化管穿孔、小腸・大腸の狭窄・閉塞、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、喘息発作、無菌性髄膜炎、横紋筋融解症	【頻度の記載のないものは頻度不明】 ショック、アナフィラキシー、消化性潰瘍（0.2%）、消化管出血（0.1%未満）、消化管穿孔、心筋梗塞、脳卒中、心不全、うっ血性心不全、肝不全、肝炎、肝機能障害（0.1%未満）、黄疸、再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、急性腎障害、間質性腎炎、中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎、間質性肺炎
会社名	あゆみ製薬	錠：日医工 細粒：第一三共	ヴィアトリス
薬価	200mg：6.50円/錠 500mg：11.20円/錠 20%細粒：12.20円/ｇ	60mg：10.50円/錠 10%細粒：11.40円/ｇ	100mg：8.30円/錠 200mg：12.50円/錠
採用区分	院内外共通　院外は一般名処方	院内外共通　院外は一般名処方	院内外共通　院外は一般名処方
先発・後発区分	後発品	錠：後発品 細粒：先発品	後発品

2026/10/1　Ver1.0

薬事委員会作成

※添：添付文書、妊：妊娠と授乳、Hale：ヘイル薬と母乳より引用。詳細は電子カルテトップ→DIニュース→お役立ち情報「妊娠・授乳婦と薬」を参照